

厚生省科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）
分担研究報告書

少子社会における勤労者の家族観について

分担研究者 山中 正和（連合総合生活開発研究所）

研究要旨

21世紀を目前にしたわが国の「少子化」問題は、社会、経済、労働、人口、家庭、教育などあらゆる分野にわたって最重要課題となっている。とりわけ、家族・家庭の急激な変化は、個々の生き方をも問い直しており、「少子化」時代に大きな影響を及ぼしている。

現在、家族・家庭がどのような実態にあり、構成する個々人がどのような家族・家庭観をもっているかの調査研究は、きわめて重要な課題であるが、「少子化」の観点からの研究は十分とはいえないと思われる。

また、家族・家庭環境の変化が、結婚、子育てなど家庭での男女の役割分担のみならず、社会制度、労働条件、福利厚生制度、教育制度などにどのような影響を及ぼしていくかは「少子化」問題への貴重な資料となることだろう。

このような観点から、勤労者の家庭生活の実態、家族観などについての意識調査を中心に、「少子化」問題へのアプローチを試みた。アンケート調査は、京浜地区の男女30代を中心としたさまざまな業態・規模から選定した勤労者を対象に、家庭生活の実態、家族観、子ども観などについて1200名（男女約半数ずつ）の意識調査を実施した。回収率は91.1%（1094/1200）であった。

今回の調査結果から次のようなことがわかった。仕事と家庭の両立を見る上で、会社中心、あるいは家庭中心の生き方を探るために、就業時刻または、就業時刻から1時間未満で退社する日はどのくらいありますかという問いがあった。これに対しては、ほとんどないと答えた人と、ほぼ毎日と答えた人が両極に分布し、いずれも3割以上を占めて、拮抗している。就業時刻後、すぐ退社しない理由として、自分が行うべき仕事の量が多いと答えた人が8割に上る。また、終業時間後に会議やミーティングなどが開かれると答えた人も多く、退社しづらい雰囲気があると答えた人も多い。家に帰るまで、まっすぐ帰ると回答した人は7割近くおり、夕飯などの買い物を済ましてから帰る人を合わせると8割以上になる。

次に、家族の生活を経済的に支える責任は夫にあるという考えに賛成、どちらかといえば賛成と答えた人は8割を超え、夫の収入が多ければ、妻が無理して働く必要はないという考えに賛成、どちらかといえば賛成と答えた人も6割を超える。しかし、家事や

育児の責任は妻にあるという考えに賛成、どちらかといえば賛成と答えた人は5割を越す程度だが、妻が専業主婦であっても、夫は家事・育児にかかわるべきであることに賛成、どちらかといえば賛成と答えた人は9割を越している。

少子化の原因の一つとしてよく挙げられる未婚、晩婚については、次の結婚観についての問いが興味深い。未婚者に結婚したいと思いますかとたずねたところ、8割以上が結婚したいと答えている。ところが、自分の結婚について今後どうしたいかという問いに対しては、ある程度年齢までには結婚したいと答えた人よりも、理想的な結婚相手がいなければ結婚しなくてもよいと答えた人のほうが上回った。結婚したい相手がいるけれども、まだ結婚しない理由は、結婚予定の人を除くと、相手が結婚を望んでいないが多く、以下経済条件が整わない、独身生活を楽しみたいが続いている。

結婚後の家事・育児分担を見ると妻がほとんどやる、妻が7割はやる、で全体の9割を占めている。育児については、やはり子どもの身になって育児ができるのは母親だとの意見が強い。しかし、3歳までは母親の手で育てるべきだという意見は、減少する。

政府に対する子育て支援についての要求は、経済援助が最も多い。育児と仕事の両立のための政策として、職場復帰の保証、育児期間中の上司や同僚の理解、子どもが急病になったときの看護休暇などが、重要度の高いものとして示された。保育所に関しては、保育料の軽減、保育時間の延長が多く、育児休業制度の拡充や再就職の支援などの働き方にかかわる要望を上回っている。

これらの調査結果から、理想的な結婚相手がいなければ結婚しなくてもいいと答えた人が多いことは、結婚後の暮らし方、経済レベルなどについて自分の考えを優先する人が増えていることを物語っている。

また、子育て支援のためには保育時間の延長などの環境整備や保育料の軽減、周囲の理解などが多く期待されていることがわかる。中でも、勤務先の職場環境の整備として、育児休業後の職場復帰の保障、育児期間中の上司や同僚の理解、子どもが急病になったときの看護休暇、育児休業中の賃金補償の拡大などが勤労者にとって育児と仕事の両立を考える上で切実な要求といえるだろう。

A．研究目的=

21世紀を目前にひかえ、急速に進む少子化現象はますます深刻な問題となっている。少子化の進行は、労働力人口の低下のみならず、現在の社会保障制度にも関連し、将来のわが国経済社会のあり方に大きな影響を与えることが懸念されている。その解決のためには、社会保障・社会福祉の充実など総合的な対策が必要とされているが、なかでも、勤労者にとっては結婚・育児生活と職業生活の両立は切実かつ重要な課題となっている。さらに家族構成や家庭観・結婚観の変容も少子化問題に大きな影響を及ぼしていると考えられる。このような観点から、雇用労働者に対する企業の支援、また家事・育児の現状とを明らかにするとともに、少子化と結婚観や家庭との関連などについて調査研究を進め、政策的諸課題を明らかにすることとした。

B．研究方法=

首都圏の30代の男女1200名、男女半数ずつにアンケート調査を実施した。回収数は1094名。回収率は91.1%であった。

(倫理面への配慮)

アンケート調査は、匿名を厳守し、個人に意見などが外部の漏れることのないよう十分配慮した。

C．研究結果及び考察=

1．属性

【基礎属性】

F1からF11までは、この調査の基礎属性について「あなたご自身のことにつ

いておたずねします」としてフェイス調査を行っている。

F1の性別については、トータル1,094名のうち、女性が561名(51.3%)、男性が533名(48.7%)であった。

F2の年齢については、30～34歳が49.2%、35～39歳が50.8%となっており、平均が34.6歳となっている。

F3の結婚の状況については、結婚している(初婚)が82.3%、結婚していないが13.3%、再婚が2.0%、離別・死別が2.5%となっている。そのうち、初婚者の結婚後年数については、6～10年目が41.7%、それ以上が29.6%、4～5年目が13.4%となっており、平均は8.4年であった。再婚者の結婚後年数については、2～3年目が31.8%、6～10年目が27.3%となっており、平均は4.2年であった。

F4の女性に対し「あなたは専業主婦ですか」の質問については、専業主婦が45.3%、いいえが54.5%となっている。

F5の子供の有無については、子供がいるが82.3%、いないが17.0%となっている。子供がいるのうちについての人数については、2人が52.4%、1人が30.9%、3人が15.1%となっており、平均は1.9人となってい

る。

子供の性別については、第1子が男性48.3%、女性51.3%、第2子が男性52.9%、女性46.9%、第3子が男性50.8%、女性が49.2%となっている。

子供の年齢については、第1子については5~8歳が25.6%、0~3歳が24.1%、9~12歳が21.7%で、平均が6.7歳となっており、第2子については、0~3歳が39.1%、6~8歳が23.4%、4~5歳が18.7%で、平均が5.1歳となっており、第3子については、0~3歳が50.0%、6~8歳が23.1%、4~5歳が20.0%で、平均が3.9歳となっている。

F6の「あなたと一緒に住まいの方の人数は、あなたご自身を含めて何人ですか」の世帯構成員数の質問に対しては、4人が35.1%、3人が24.4%、5人以上が20.0%となっており、平均が3.6人となっている。

F7の世帯構成員について「あなたと一緒に住まいの方すべてにお答えください」の質問については、配偶者が83.2%、子供が71.4%、実母が14.9%、実父が10.8%の順になっている。

F8の自分の両親の居住地について「あなたとどの程度離れた場所にお住まいですか」の質問については、乗り物を利用して2時間以上の距離が26.6%、乗り物を利用して1時間~2時間未満の距

離が13.6%、同居しているが15.6%の順になっている。

また、配偶者の両親の居住地については、乗り物を利用して2時間以上の距離が26.1%、乗り物を利用して1時間~2時間未満の距離が13.1%、乗り物を利用して30分未満の距離が12.9%の順となっている。

F9の住居形態についての質問については、貸家・賃貸マンション・賃貸アパートが33.4%、持ち家一戸建て(自分の代で取得・建て替え)が25.0%、持ち家マンション(自分の代で取得)17.2%となっている。

F10の最終学歴についての質問では、大学・大学院が39.5%、高校が30.4%、専門学校・専修学校が14.0%となっている。

F11の「政府の一般的な政策としてどの分野が重要だと思いますか。3つまで教えてください」の質問については、景気対策が50.8%、環境政策が36.9%、年金政策が35.8%、子供の教育政策が34.3%、介護政策が32.1%の順になっている。

2. 仕事について

【本人の就業状況】

Q1の「現在、収入を伴う仕事に就いていますか」の質問については、就いているが79.5%、就いていないが20.3%となっている。

Q2の「あなたの就業形態は」の質問については、正社員・正職員・公務員が74.8%、パート・アルバイト・契約社員が16.0%、自営業主・家族従事者が5.7%の順である。

Q3の「あなたはどのような時間帯に勤務していますか。平日の通常の出勤時間と帰宅時間を教えてください」の質問については、平日の出勤時刻は、午前7時台が38.3%、午前8時台が29.8%、午前6時台が9.7%、午前9時台が7.5%、勤務時間不定が10.7%となっている。

平日の帰宅時刻は、午後6時台が16.8%、午後7時台が15.1%、午後8時台が14.5%、午後9時台が11.6%、勤務時間不定が10.7%の順になっている。

Q4の「職場までの片道通勤時間を教えてください」の質問については、90分未満が31.3%、60分未満が31.0%、30分未満が26.3%となっている。

Q5の「あなたの通常労働時間はどのくらいですか」の質問については、1日の労働時間は9時間未満が25.4%、11時間未満が17.2%、10時間未満が15.5%、12時間以上が9.7%の順となっている。

1週間の労働日数は、5日が67.6%、6日が11.2%、労働時間不定が6.8%となっている。

Q6の現在の職種の質問については、事

務職が29.8%、営業・販売・サービス職が23.5%、技術・研究・専門職が21.4%、現業職・技能職が17.0%の順になっている。

Q7の現在の勤務先での勤続年数の質問については、6～10年目が28.5%、11～15年目が24.6%、1年目が13.4%、2～3年目が12.6%の順となっており、平均は8.3年となっている。

Q8の勤務先の正社員・正職員の人数(他支店・他支社を含む)の質問については、1000人以上が32.2%、10人未満が15.5%、300～999人が11.3%、100～299人が11.1%、30～99人が11.0%の順になっている。

Q9の1999年1月～12月の年間収入(税込み)の質問については、400～600万円未満が31.6%、600～800万円未満が23.6%、200～400万円未満が14.0%、800～1000万円未満が6.5%となっている。

【配偶者の就業状況】

Q10の「配偶者は、現在収入を伴う仕事に就いていますか」の質問については、就いているが66.5%、就いていないが30%となっている。

Q11の配偶者の就業形態の質問については、正社員・正職員・公務員が75.

1%、パート・アルバイト・契約社員が13.0%、自営業主・家族従事者が7.6%、派遣社員が2.1%の順となっている。

Q12の「配偶者はどのような時間帯に勤務していますか」の質問については、平日の出勤時刻については、午前7時台が36.3%、午前8時台が24.7%、午前6時台が11.0%の順に、勤務時間不定が14.7%となっている。平日の帰宅時刻については、午後8時台が14.4%、午後7時台が13.7%、午後9時台が13.4%、午後5時より前が11.1%、午後6時台が10.7%の順に、勤務時間不定が14.7%となっている。

Q13の配偶者の通常労働時間の質問では、1日の労働時間について、9時間未満が20.2%、11時間未満が18.4%、10時間未満が14.7%、12時間以上が12.6%の順に、労働時間不定が10.8%となっている。また、1週間の労働日数については、5日が57.7%、6日が18.6%、4日が3.2%、労働時間不定が10.8%となっている。

Q14の配偶者の現在の職種については、営業・販売・サービス職が29.2%、事務職が21.6%、現業職・技能職が20.7%、技術・研究・専門職が17.0%となっている。

Q15の配偶者の1999年1月～12

月の年間収入(税込み)については、400～600万円未満が30.5%、600～800万円未満が23.7%、200～400万円未満が10.2%、800～1000万円未満が9.2%となっている。

3. 仕事と家庭の両立について

Q16では、「就業時刻から1時間未満で退社する日はどれくらいありますか」と聞いている。「ほとんどない」が、30.3%。この反対に、「ほぼ毎日」と答えた人は、34.4%となっている。「ほとんどない」に「週一日程度」を加えると、39.5%。「ほぼ毎日」に「週4日程度」を加えると、38.1%でその割合はほぼ拮抗する。中間をあわせて20%ほどだから、両極に分岐している傾向である。さらに、「就業後すぐに退社しない(できない)理由」を二つまで選択すると、1位では「自分が行うべき仕事の量が多い」と答えた人が、79.6%と断然多い。ところが、2位では「終業時間後会議やミーティング、勉強会などが開かれる」が23.4%、「定時では退社しづらい雰囲気職場にあるから」と答えた人が14.6%、「仕事や職場生活にやりがいや充実を感じるから」が10.8%と続く。30代という職場の中核である年代では、アフター5は会社にしばられている部分が多いといえよう。

Q17では、「勤務先を出たあと家に帰るまでの時間をどのようにすごしているか」を聞いている。頻度順に3位までたずねている。1位では「まっすぐに帰宅する」

が68.0%。次に多い「夕飯の買い物などを済ましてから」を加えると、8割を超えている。寄り道をせず、まっすぐ帰る人が圧倒的に多い。2位では、「上司や同僚、部下などとのつきあいの後、帰宅する」と「友人、知人とのつきあいの後、帰宅する」を合わせると31.8%。「夕飯の買い物などを済ましてから」と「買い物や一人でふらふらして自由な時間を過ごした後帰宅する」を合わせると、31.8%となり、Q16での退社時刻の両極分布と相応する。

Q18では、「育児の都合や家族の病気など家庭の都合によって自分の仕事がこなせないとき、どうすることが多いか」たずねている。(2つまで回答)「遅刻・早退・有給を利用する」が58.1%、「職場で変わりの人に頼む」が46.7%とこの二つが断然多い。自由記入回答によると、女性が再就職時に面接で決まって聞かれるのは、「お子さんが病気になったらどうしますか」という質問。また、行政に「急病時預かってくれる保育園を」との声も出ている。また、「企業の意識改革」を求める声も多い。

Q19は女性だけに、「もし夫の収入が高かったり、その他に収入があった場合、あなたは現在の仕事を続けたいですか」という質問。「現在の仕事を続けたい」と答えた人が、47.6%と多く、「仕事はやめたい」と答えたのは16%にすぎない。これは、アンケート対象者が30代に限定したことや、雇用不安、不況の長期化などと関連している可能性もある。

Q20は「子育て期にあなたはどのような働き方をしたいか」をたずねている。「どちらかといえば仕事を優先させて働く」(34.2%)と「どちらかといえば育児を優先させて働く」(38.3%)とほぼ拮抗しているように見えるが、これにそれぞれ、前者に「育児に使える時間がなくなっても、仕事に専念する」(2.7%)を加えても37.9%であるのに対し、後者に「働かずに育児に専念する」(16.7%)を加えると、55%となる。仮に、前者の二つを仕事派、後者の二つを育児派を名づけると、育児派が優勢であるとともに、職場と育児の両立が困難な環境がうかがえる。

Q21は、同じ質問を配偶者に向けて行ったものである。これをQ20のように、仮に区分けすると、仕事派は33%、育児派は59.1%となり、育児派は仕事派の約2倍となり、この世代での育児の優位性はいっそうはつきりする。

3. 結婚と夫婦に対する考え方

Q22は、「夫婦間の責任や規範について」～までの5つの意見を提示し、「賛成」、「どちらかといえば賛成」、「どちらかといえば反対」、「反対」の4つの選択肢で答えてもらった。この選択肢により、前二者は広い意味での賛成、後二者は広い意味での反対とみなすことができよう。

「夫婦の生活を経済的に支える責任は夫にある」

「どちらかといえば賛成」は45.2%、

「賛成」は40.7%。圧倒的に賛成が多い。「どちらかといえば反対」と「反対」をあわせても、13.5%にとどまる。戦後、飛躍的に女性の就業率が高まったとはいえ、就業率に伴う就業条件がまだまだ整備されていない現状を浮かび上がらせると同時に、妻の就業が困難である状況を反映している。自由回答のなかには、次のような意見が多く出されている。

「職場復帰が困難なことが多く、以前より、パートや就航など、待遇が悪くなってやめざるを得ない人も多い。」

「家事や育児の責任は妻にある」

「どちらかといえば賛成」が47%、「賛成」(7.2%)を加えて、54.2%とようやく過半数を超える程度。「どちらかといえば反対」(30.3%)と「反対」(14.9%)を加えて、45.2%である。今後この数字は、「反対」が増えていくのであろうか。

「夫の収入が多ければ、妻が無理して働く必要はない」

「どちらかといえば賛成」が34.7%、「賛成」が30.4%、合わせて65.1%が賛成派である。「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせて、34.2%であり、賛成が反対を倍近く上回る。

「なんに行っても女の幸せは結婚にある」

古くからある質問であるが、「どちらかといえば反対」が35.9%、「どちらかといえば賛成」が32.7%。「反対」が25%、「賛成」が5.3%、と反対がはっきりと賛成を上回っている。結婚への理想が(幻想も)うすれてきていることは、つぎのQ23でより顕著になる。

「妻が専業主婦であっても、夫は家事・育児にかかわるべきである」

「賛成」が47.9%。続いて「どちらかといえば賛成」が44.6%で、賛成が大多数を占める。家事育児は夫婦で分担すべきものという意識と現実が浸透してきたことの証明であろう。また、たとえ専業主婦であっても「核家族化の進んだ社会では、(育児は)本当に母親に多大なストレスを与えます。子どもは地域社会で育てるもの。母親がもっと自由に過ごせる時間をつくるため、一時保育や託児所サービスを充実させてほしいです。」という意見に見られるように、妻の自由時間という、女性の生き方にかかわる意識があらわれている。

Q23は独身の人に結婚観についてたずねている。「あなたは結婚したいと思いますか」という質問に対し、

結婚したい相手がいる

結婚したいと思うが相手がない

結婚したいとは思わない

以上3つの選択肢を用意し、については、それぞれ付問につづいている。まず、の問に対して、当てはまる人は31%。については、49.7%。については14.5%であった。

さらに、の「結婚したい相手がいる」と答えた人の中で、「まだ結婚しない理由」をたずねたところ、結婚を予定しているもの(37.8%)を除くと、多かった順に、「相手が結婚を望んでいない」(13.3%)、「経済条件が整わない」(6.7%)、「独身生活を楽しみたい」(6.7%)、「親の面倒を見なくてはな

らない」(6.7%)、「仕事を優先したい」(4.4%)、「親が反対している」(2.2%)と続く。

次に、の「結婚したいと思うが相手がいない」と答えた人に対し、「結婚について今後どうしたいか」と、二つの選択肢を示したところ、「理想的な結婚相手が現れなければ結婚しなくてもよい」(45.8%)が、わずかであるが「ある程度の年齢までは結婚したい」(43.1%)を上回った。家庭生活の基本的な一つの単位を構成する夫婦、あるいは結婚に対する考え方が出ている項目である。

30代独身者の約半数が、「結婚したいが相手がいない」と答えている。また結婚したい相手がいると答えた3割ほどの人の中でも、結婚予定者は37.8%にすぎず、相手が結婚を望んでいなかったり、経済条件で今より生活程度を落としたいと考えたり、現在の自由な生活を楽しみたいといったような理由で、結婚にはとりたてて積極的なアプローチを見せていないように見られる。その傾向がさらにはっきりするのは、結婚したいと思うが相手がいないと答えた人の中では、理想的な相手がいないければ、結婚しなくてもかまわないと答えている人がある程度の年齢までには結婚したいと答えた人を上回っていることだ。結婚願望は高いからといって、結婚のために現在の生活や自由のレベルを落としたいということができよう。このことは、次の子育てや子育て支援への課題を見ると、30代の男女にとって、子どもを産み育てにくい環境やその要因、ひいては少子化の原因とその課題がよりはっきり

してくる。

5. 子どもと育児に関する考え方

Q24では、「自分の子どもは何人」にしたいかをたずねている。「子どもは要らない」と答えたのは、5.4%にすぎない。ここで、F5でたずねた「あなたにはお子さんがいらっしゃいますか」の設問を思い出してみよう。「子どもがいない」と答えた人は17%であった。「子どもが要らない」と答えた人は、5%程度であったから、「子どもが要らない」と答えた人の3倍の人に、子どもがいないということになる。

自由回答から、子どもがいない人の特徴的な意見を挙げてみる。

「保育施設を増やして、順番待ちをせず子どもを預けられるように。安心して預けられるように保母さんの教育をしっかりと。」「現状では怖くて(環境・税金・高齢者問題など)子どもを生めない」「女性は働かずに育児をすべし、という固定概念を崩さぬ限り、少子化はとめられないと思う」「母親が子どもを預けてちょっと息抜きしたり、美容院に行ったり、お買い物に行ったりできたら、子育ても楽になると思う。」(いずれも女性)等の声としてあらわれている。

次に「2人にしたい」と答えた人は、

56.4%。「3人」は25%。「4人以上」は2.4%となっている。これを上述と同様にF5での子どもの人数を見ると(子ども0は含まれていないが)ほぼ、子どもの数については、0人を除けば希望と現実ほぼ一致している。

Q25は現在、子どものいる人にたずねている。「本人と配偶者以外で、子どもが1歳になるまで主に世話をした人は誰ですか」この質問に対して、「特にいない」と答えた人が45.5%にのぼり、半数近くが主たる援助なしで夫婦二人で育てていることがわかる。それ以外では、まず、配偶者の親が23.9%で一番多く、その他の家族が9.7%と続く。以上で8割近くを占め、保育所は6.9%と低位にとどまっている。行政区によって0歳児保育をしている保育所とそうでない保育所のばらつきがある。自由回答でも0歳児保育についてはかなりの多くの意見が寄せられている。「特に0歳児の園の定員は少なく即刻充実してほしい」「保育園の入園については、0~1歳児はとてもしりにくい状況があります。入園させるために復職を早め、4月に合わせるといったことをしなければ入園できません。」「0歳児の保育園が空きがなく、先のことまで考えると多く子どもは産めない。」「結婚してずっと仕事を続けていますが、出産に踏み切れないのは、やはり行政のバックアップに不安があるからなのです。本気で少子化を食い止めたいのであれば、企業に強制的に職場環境の整備を義務付けるとか、もっとわかりやすい手段をとってほしいと思います。」

Q26では子どもがいない人も含め、全員にたずねている。「最初の子ども(いない人は予定で)は何歳から、幼稚園・保育園に通いましたか」とたずねている。1位は「4歳から」で36.1%、2位は「3歳から」で32.4%、3位が「1歳~3

歳未満」で13.9%、次になってようやく「0歳から」8.5%が登場する。すなわち、全体の1割にも満たないのである。この背景も、Q25での意見が参考となろう。次の意見は端的に入園の難しさを表明している。「就労していなければ保育園に入園できなし、入園していないと就労できないという悪循環で、いつまでたっても保育園に入れなくて困っている。」

Q27~Q30は、現在結婚している人にたずねている。

Q27は家事・育児の分担について、大きく3つのグループ、より詳しく5つわけて選択肢を設定している。1は「ほとんど夫」、2は「夫7、妻3」の割合。3は「ほぼ半分」で分担。4は「妻7、夫3」の割合。5は「妻がほとんど」している。回答は、設問の逆順に多い。すなわち、「妻がほとんど」が58.8%、「妻7、夫3」が31.9%。この二つで大多数9割を超えている。ちなみに、「ほぼ半分」で分担は5.2%。1および2は加えても1%に満たない。Q22でたずねた「家事や育児の責任は妻にある」という意見に対し反対(どちらかといえば反対を含む)が半数近くあったことを想起すると、現実には、圧倒的に妻の負担となっており、夫は「気持ちは半分あるのだが・・・」という結果になっている。

Q28では、「出産・育児への不安」についてたずねている。1位においたのは、「養育や教育にお金がかかること」が圧倒的に多く、49.8%とほぼ半数があげている。これに「家事や育児の負担が

増えること」(22.8%)が続いている。「住居が狭い」(9.3%)、自分の仕事に支障が出る(4.7%)はわずかといっただけでよい。2位にあげたものでは、やはり「養育や教育にお金がかかること」(22%)がトップだが、以下との差は小さく、「住居が狭い」(21.3%)、「家事や育児の負担が増えること」(17.7%)と続いている。自由回答でもこの意見は当然多い。「少子化の今、子どもを産む産まないは個人の自由ですが、子どもは社会の宝です。社会を支えていく子どもを持つ親が、税制面で優遇されるのは当然ではないでしょうか。」「児童手当、乳幼児医療費女性など収入による制限が厳しすぎる。3歳児未満すべてに適用されてのいいと思う。」「パートだと認可保育園に入れず、高い保育料の無認可保育園に入れなければならず、給料はほとんど保育でなくなり、時には赤字になるのはおかしい。」

Q29 出産・育児についての典型的な意見8つに対し考えの近いものをたずねている。1は「そう思う」、2は「どちらかといえばそう思う」、3は「どちらかといえばそう思わない」、4は「そう思わない」であるが、大きく賛成・反対の傾向がわかる。

やはり子どもの身になって育児ができるの母親である。

「どちらかといえばそう思う」が49.9%、「そう思う」が22.9%。あわせて7割以上となる。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を加えても、24.3%である。

子どもを産めば、女性も自然に母性愛に目覚めるものだ。

「どちらかといえばそう思う」が45.9%、「そう思う」が28%。あわせるとやはり7割以上となる。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を加えて、23.2%である。

少なくとも子どもが3歳になるまでは母親の手で育てるべきだ。

「そう思う」が38.1%、「どちらかといえばそう思う」が35%。加えると7割を越す。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を加えると、24.1%である。

女性は子どもを産んでこそ1人前である。

「そう思わない」が41.5%、「どちらかといえばそう思わない」が29.4%で、加えると7割以上がそう思っていない。「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」をたしても、4分の1程度である。

女性が出産を選択しない権利も認められるべきだ。

「そう思う」が36.9%、「どちらかといえばそう思う」が36.8%。くわえると、やはり7割を越す。これはの問いに対する答えと照応している。

出産は女性の権利であり、女性のみ許された特権である。

「どちらかといえばそう思う」が35.2%、「そう思う」が29.6%。「そう思う」がやや少ないが、加えると7割には届かないものの3分の2が賛成している。「どちらかといえばそう

思わない」が21.9%、「そう思わない」が9.9%で3割以上が反対である。「特権」という間に違和感を覚えたのだろうか。

女性の妊娠・出産は女性の仕事や自由の確保の妨げになる。

この問はなかでも意見が分かれたところである。「どちらかといえばそう思う」は41.1%と多いが、「そう思う」は14%にとどまり、あわせて半数を超える程度である。「どちらかといえばそう思わない」は28.2%、「そう思わない」は13.4%をあわせて4割を越す。理念と現実とのゆれを見て取ることができるのではないだろうか。

男性も妻の出産に立ち会うべきだ。

最後の問いは意見がほぼ拮抗している。「どちらかといえばそう思う」(31.4%)に「そう思う」(16.3%)を加えると、48%に上り、ほぼ半数といえる。一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を加えると49%となる。新しい世代の出産に対する考え方の変化に注目したい。

Q30では子どもへの期待を、Q29と同様の手法でたずねている。子どもがいない場合は、想定して答えてもらっている。

子どもには将来豊かな生活をしてほしい。

「そう思う」が53.8%、「どちらかといえばそう思う」が41%である。圧倒的多数が豊かな生活を願っているのは当然といえよう。

子どもは親のものというよりも、社

会全体のものである。

「どちらかといえばそう思う」が39.9%、「そう思う」が15.6%。半数以上が賛意を示している。それに対し、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を加えると41.1%あり、意見が分かれているところである。

子どもの人生と親の人生は別である。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」で9割以上が子どもの人生を認めているといえる。

自分の代で得た財産は、子どもには残さずに使い切りたい。

しかしこと金、財産となると事柄は違って来るようだ。子どもの人生は認めながらも、の豊かな生活を願っていることから考えれば、子どもに財産を残してあげたいと思うのは親子の情であろうか。

「どちらかといえばそう思わない」が52.2%、「そう思わない」が20.3%。あわせて7割を超える。意見に賛成なのは、4分の1ぐらいか。

子どもには教育を含めてできるだけ経済援助をしたい。

これもほぼ同様の結果となった。「どちらかといえばそう思う」が54.8%、「そう思う」が29.5%で85%に達する。の質問を上回る賛成が出たのはうなずける。

自分の老後は子どもには迷惑かけないつもりだ。

「どちらかといえばそう思う」が54.9%、「そう思う」が33.9%。圧倒的に子どもには借金など経済的負担ばかりでなくその他の迷惑もかけたくな

いと願っているのは当然か。

老後は子どもと同居しなくても、近くには住みたい。

「どちらかといえばそう思う」が47.2%、「そう思う」が32.2%。加えれば、ほぼと同様の結果となる。子どもには迷惑をかけたくないとはいえ、孫の顔を見たいという気持ちもある。また緊急時には近くに子どもがいれば無理を言いやすい、などの気持ちが推察される。

自分の墓には、子どもや孫がお参りしてほしい。

「そう思う」が37.7%、「どちらかといえばそう思う」が36.6%。あわせると前2つと同じ結果だが、「どちらかといえばそう思う」より「そう思う」が上回っている点に特徴がある。やはり帰るところは、家族のもとなのだろうか。こうしてみると、少子化という社会的現象と、家族の絆という社会的規範が相互に関係しあっていることが推しはかれる。これからどのような関係を取り結んでいくのか興味深い。

6. 子育て支援について

Q31では政府の少子化対策の必要性をたずねている。

「ある程度必要である」と答えた人(45.5%)と「必要である」(40.4%)を加えると、85%以上の人政府の政策を求めている。

Q32では、子育て政策に対し、4つの選
択肢から選んでもらった。次のような優

先順位が明らかになった。

群を抜いて多いのは、「育児への経済的援助」(47.2%)である。次は「保育所、地域での子育て支援などサービスの充実」(28.6%)であり、「育児休業制度の拡充や再就職支援など働き方の改善」(20.3%)が続く。

Q33では、育児と仕事の両立のために、勤務先の職場環境の整備として何が重要だと思えますかとたずねている。重要と思う順に3つまで記入してもらった。

選択肢は14と多い。これはより実現可能な政策を想定しておこなったためである。参考までにその選択肢を列挙すると、

育児休業中の貸し金補償の拡大。

育児休業後の職場復帰の保証。

育児休業期間の延長。

パートタイム労働の賃金や雇用保障の充実。

育児のための短時間勤務制度。

残業時間を含めた労働時間の短縮。

フレックスタイム制の摘要。

在宅勤務の充実。

職場保育の充実。

子どもが急病になったときの看護休暇。

子育て後の再雇用制度や再就職支援制度。

職種によるコース別の雇用管理。

育児期間中の上司や同僚の理解。

その他(記述)

選択はかなり多岐に分かれたが、重要度1位にランクされた項目の中でトップは、の「育児休業後の職場復帰」(18.6%)、つづいて、「育児期間中の

上司や同僚の理解」(15.8%)、「子どもが急病になったときの看護休暇」(10.3%)と続いている。)2位にあげた中での上位3項目は、「子どもが急病になったときの看護休暇」、「育児のための短時間勤務制度」、「育児休業後の職場復帰」となっている。また、3位にあげた中での上位3項目を見ると、「育児期間中の上司や同僚の理解」、「子どもが急病になったときの看護休暇」、「育児のための短時間勤務制度」があげられる。改めてこれらの結果から切実な職場環境の整備として、あげられるものは、「育児休業後の職場復帰」、「育児期間中の上司や同僚の理解」、「子どもが急病になったときの看護休暇」、「育児のための短時間勤務制度」があげられる。

Q34では、育児と仕事の両立のために保育所サービスの充実として重要と思われるものを1位から3位まで記入している。選択肢は、Q33と同様の趣旨で、11項目用意した。

保育所の時間延長。

保育料の低減化。

休日保育の充実。

夜間保育の充実。

0歳児保育の拡充。

駅前保育の充実。

訪問保育の充実。

学童保育の充実。

保育に関する相談機関の充実。

地域ボランティアの充実。

その他(記述)

選択は と に集中した。重要度1位にランクされた項目の中では、「保育料の

低減化」(37.8%)、「保育時間の延長」(36.7%)がずば抜けて他を引き離している。第2位においてもこの傾向は変わらない。第3位には、ほぼ均等に、「学童保育」、「駅前保育」、「保育料の低減化」、「時間延長」、「夜間保育」などが連ねている。

最後に、自由回答の中から、30代で子どもをもつ、男女一人ずつの意見を載せて締めくくりに代えよう。

男性は、31歳正社員。「子育ては確かに仕事に対する時間を少なくするし、金銭的にも大きな負担となる。独身時代や子どものいないときに比較すると、自分にとっての自由度はかなりきつくなってしまふ。そのため、子育てを躊躇してしまいがちである。それをできるだけ軽減するためには、国を挙げて子育てをしている家族を、幸せな家庭と考えられるようなイメージを社会に浸透させることが必要と思われる。特に第2子以降を育てている家庭には、相当な負担がかかるので、子どもの医療制度の無料化など、経済的な支援が一番必要と思う。」

女性は30歳パート社員。「現在子どもを保育園に通わせているが、その中でも自治体からの福祉面への対応がどんどん厳しくなっているのを感じる。仕事をしている女性には経済的な理由だけでなく、自分がしたいから仕事をしている人がたくさんいる。これだけ女性が仕事を持つことが普通の世の中なのに、仕事のことを考えると子どもをほしいと思っても産むことを考えてしまう人がたくさんいると思う(私もその一人です)。育児休

暇のことなど企業にばかり押し付けていないで、0歳児保育の充実や、保育園を増やすなど、もっと母親が安心して仕事のできる環境を考えてほしい。そうすれば子ども一人を産むことにこんなに悩まなくて済むと思う。」

E . 結論=

第1次から第3次にわたって、調査対象は、大都市、しかも30代を中心に意識調査を行ってきた。この世代の勤労者にとって、仕事と家庭・育児の両立は、身近な性別役割分担意識を変革し、両性の共同的責任の意識を高め、ひいては自立した社会単位を作り上げていく上で重要であろう。また、未婚者にとって異性との出会いの機会は以前よりずっと増えてい

ると思われるが、理想の相手に出会うことは、なかなか難しく、出会えなければ結婚しなくてもよいと考える人が、結婚したいという人を上回っている。このことは、雇用情勢の悪化や長期的な不況を背景として、今後の動向が注目される。

企業にとっては、雇用の安定と子育て支援を経営戦略の中の柱として据えることが引き続き課題となっている。公的支援については、育児休業中の賃金補償の拡大や子どもが急病になったときの看護休暇などが特に期待されているといえよう。少子化「問題」へ施策にとって必要なのは、政策の総合的つながりと家庭、企業、公的支援とのそれぞれの相互の関係の変革にあるといえよう。

家族と仕事についてのおたずね

<Z1152Z>

2000年1月

拝啓

時下、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

いつも私どものアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

さて、このたび弊社では、『家族と仕事についてのおたずね』を実施することとなりました。

この調査は、皆様の「家族と仕事」についてのご意見などを伺い、今後の基礎資料に役立てようとするものです。お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご回答をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

なお、些細ではありますが、ご協力のお礼として図書券を同封いたしましたので、ご笑納ください。

末筆ながら、ご家族皆様のご健康をお祈り申し上げます。

敬具

- 《ご記入にあたって》
- この調査は、宛名の方ご本人様 がお答えください。
 - ご記入は、えんぴつか、黒または青のボールペンでお願いします。
 - ご回答は、当てはまる番号に○印をつけていただくものと、具体的に数字や言葉をご記入いただくものとがございます。
 - 質問によっては、ご回答が1つだけのもの（○は1つだけ）と、いくつでもお答えいただくもの（○はいくつでも）がございますので、ご注意ください。
 - お答えいただいた内容によって、次にお伺いする質問が分かれる場合があります。その場合→の指示に従ってご記入を進めてください。
 - ご記入が終わりましたら、記入もれ等がないかももう一度お確かめの上、
2月7日（月）までに ご投函ください。

※ ご不明な点等ございましたら、お気軽に下記担当者までご連絡ください。

■はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

F1 あなたの性別をお答えください。

1 女性	2 男性
------	------

F2 あなたの年齢をお答えください。

	歳
--	---

F3 あなたは、現在結婚されていますか。(○印はひとつだけ)

1 結婚していない 2 結婚している(初婚) → 結婚()年目 ※1999年12月31日現在でご記入ください 3 結婚している(再婚) → 現在の配偶者と結婚()年目 ※1999年12月31日現在でご記入ください 4 離別 5 死別
--

F4 女性の方におたずねします。あなたは専業主婦ですか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

F5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(○印はひとつだけ)

1 <input type="checkbox"/> 子供がいる→()人 2 <input type="checkbox"/> 子供はいない	<p style="text-align: center;">◎第三子までの性別と年齢をご記入ください</p> 第一子 → (1 男性 2 女性) 満()歳 第二子 → (1 男性 2 女性) 満()歳 第三子 → (1 男性 2 女性) 満()歳 <p style="text-align: center;">※すべて1999年12月31日現在でご記入ください</p>
--	--

F6 現在、あなたと一緒に住まいの方の人数は、あなたご自身を含めて何人ですか。

◎あなたご自身を含め 人

F7 現在、あなたと一緒に住まいの方をすべてお答えください。(○印はいくつでも)

1 配偶者	5 配偶者の父	9 配偶者の祖父
2 子供	6 配偶者の母	10 配偶者の祖母
3 自分の父	7 自分の祖父	11 兄弟姉妹
4 自分の母	8 自分の祖母	12 その他(具体的に)
		13 なし(ひとり住まい)

F8 あなたのご両親・配偶者のご両親は、あなたとどの程度離れた場所にお住まいですか。

◎あなたのご両親は…(○印はひとつだけ)	◎配偶者のご両親は…(○印はひとつだけ)
1 同居している	1 同居している
2 徒歩で行き来できる距離	2 徒歩で行き来できる距離
3 乗り物を利用して30分未満の距離	3 乗り物を利用して30分未満の距離
4 乗り物を利用して30分～1時間未満の距離	4 乗り物を利用して30分～1時間未満の距離
5 乗り物を利用して1時間～2時間未満の距離	5 乗り物を利用して1時間～2時間未満の距離
6 乗り物を利用して2時間以上の距離	6 乗り物を利用して2時間以上の距離
7 両親ともすでに亡くなっている	7 両親ともすでに亡くなっている
	8 結婚していないのでいない

F9 あなたが現在お住まいの住宅は、以下のどれにあたりますか。(○印はひとつだけ)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 持ち家一戸建て(自分の代で取得・建て替え) | 5 貸家・賃貸マンション・賃貸アパート |
| 2 持ち家一戸建て(親の持ち家) | 6 社宅・官舎・寮など |
| 3 持ち家マンション(自分の代で取得) | 7 その他(具体的に) |
| 4 持ち家マンション(親の持ち家) | |

F10 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。(○印はひとつだけ)

- | | | |
|-------|-------------|--------------|
| 1 中学校 | 3 専門学校・専修学校 | 5 大学・大学院 |
| 2 高校 | 4 短大・高専 | 6 その他(具体的に) |

F11 あなたは、政府の一般的な政策としてどの分野が重要だと思いますか。次の中から3つまでお答えください。

(○印は3つまで)

- | | | |
|-----------------|--------|------------|
| 1 土地・住宅政策 | 5 介護政策 | 9 景気対策 |
| 2 子供の教育政策 | 6 年金政策 | 10 失業・雇用政策 |
| 3 病気になったときの医療政策 | 7 環境政策 | 11 その他の政策 |
| 4 出産・子育てに対する支援策 | 8 防衛政策 | (具体的に) |

■ここからは、あなたのお仕事についておたずねします。

Q1 あなたは現在、収入を伴う仕事に就いていますか。パート・アルバイト等も含まれます。(○印はひとつだけ)

- | | | |
|---------|----------|--------------------|
| 1 就いている | 2 就いていない | → 次ページQ10へおすすみください |
|---------|----------|--------------------|

Q2 あなたの就業形態は、次のどれにあてはまりますか。(○印はひとつだけ)

- | | | |
|------------------|--------------|---------------|
| 1 正社員・正職員・公務員 | 3 派遣社員 | 5 自宅就労(具体的に) |
| 2 パート・アルバイト・契約社員 | 4 自営業主・家族従事者 | 6 その他(具体的に) |

次ページQ10へおすすみください←

Q3 あなたはどのような時間帯に勤務していますか。平日の通常の出勤時間と帰宅時間をお答えください。

	出勤時刻 (ご自宅を出る時刻)	帰宅時刻 (ご自宅に到着する時刻)	勤務時間が不定の方は 以下を○で囲んでください
◎あなたご自身の勤務時間は…	午前 午後 時台	午前 午後 時台	勤務時間不定

Q4 あなたの職場までの片道通勤時間をお答えください。

◎あなたの職場までは、片道 時間 分

Q5 あなたの通常労働時間はどのくらいですか。

	1日の労働時間は	週に何日勤務していますか	労働時間が不定の方は 以下を○で囲んでください
◎あなたご自身の労働時間は…	1日平均 時間	週に平均 日	労働時間不定

※労働時間は、残業時間を含めてお答えください。ただし休憩時間は除きます。

Q6 あなたの職種をお答えください。(○印はひとつだけ)

1 現業職・技能職	3 営業・販売・サービス職	5 管理職・会社経営職
2 事務職	4 技術・研究・専門職	6 その他(具体的に)

Q7 現在の勤務先での勤続年数をお答えください。

◎現在の勤務先では、勤続 年目 ※1999年12月31日現在でご記入ください

Q8 あなたの勤務先の正社員・正職員の人数をお答えください。他の支社・支店等も含め、あなたが所属する企業・組織全体の人数でお答えください。(○印はひとつだけ)

1 10人未満	3 30～99人	5 300～999人	7 官公庁
2 10～29人	4 100～299人	6 1,000人以上	

Q9 差し支えなければ、あなたの1999年1月～12月の年間収入を税込みでお答えください。(○印はひとつだけ)

1 50万円未満	3 100～200万円未満	5 400～600万円未満	7 800～1,000万円未満
2 50～100万円未満	4 200～400万円未満	6 600～800万円未満	8 1,000万円以上

■ここからは、あなたの配偶者のお仕事についておたずねします。

配偶者のいない方は次ページQ16へおすすみください。

Q10 あなたの配偶者は、現在、収入を伴う仕事に就いていますか。パート・アルバイト等も含まます。

(○印はひとつだけ)

1 就いている	2 <input checked="" type="radio"/> 就いていない	→ 次ページQ16へおすすみください
---------	---	--------------------

Q11 あなたの配偶者の就業形態をお答えください。(○印はひとつだけ)

1 正社員・正職員・公務員	3 派遣社員	5 <input checked="" type="radio"/> 自宅就労(具体的に)
2 パート・アルバイト・契約社員	4 自営業主・家族従事者	6 その他(具体的に)

次ページQ16へおすすみください

Q12 あなたの配偶者はどのような時間帯に勤務していますか。

平日の通常の出勤時間と帰宅時間をお答えください

	出勤時刻 (ご自宅を出る時刻)	帰宅時刻 (ご自宅に到着する時刻)	勤務時間が不定の方は 以下を○で囲んでください
◎あなたの配偶者の勤務時間は…	午前 午後 時台	午前 午後 時台	勤務時間不定

Q13 あなたの配偶者の通常労働時間はどのくらいですか。

	1日の労働時間は	週に何日勤務していますか	労働時間が不定の方は 以下を○で囲んでください
◎あなたの配偶者の労働時間は…	1日平均 時間	週に平均 日	労働時間不定

※労働時間は、残業時間を含めてお答えください。ただし休憩時間は除きます。

Q14 あなたの配偶者の職種をお答えください。(○印はひとつだけ)

1 現業職・技能職	3 営業・販売・サービス職	5 管理職・会社経営職
2 事務職	4 技術・研究・専門職	6 その他(具体的に)

Q15 差し支えなければ、あなたの配偶者の1999年1月～12月の年間収入を税込みでお答えください。

(○印はひとつだけ)

1 50万円未満	3 100～200万円未満	5 400～600万円未満	7 800～1,000万円未満
2 50～100万円未満	4 200～400万円未満	6 600～800万円未満	8 1,000万円以上

■ここからは「仕事と家庭の両立」についておたずねします。全員の方がお答えください。

Q16 あなたが、終業時刻から1時間未満で退社する日はどのくらいありますか。(○印はひとつだけ)

1 ほとんどない	3 週に2日程度	5 週に4日程度
2 週に1日程度	4 週に3日程度	6 ほぼ毎日

▶次ページQ17へ

付問 あなたが終業時刻すぐに退社しない(できない)理由は何ですか。主な理由を2つまでお答えください。

ひとつしかないときはひとつでも結構です。

1 位

2 位

◎この中から選んで左の回答欄に記入

- 1 自分が行うべき仕事の量が多いから
- 2 終業時間後に、会議やミーティング、勉強会などが開かれるから
- 3 定時では退社しづらい雰囲気があるから
- 4 仕事や職場生活にやりがいや充実感を感じるから
- 5 残業によって収入を増やしたいから
- 6 その他(具体的に)

Q17 あなたは、勤務先を出たあと家に帰るまでの時間をどのように過ごしていますか。最も頻度が高い順に3位までお答えください。ひとつしかないときはひとつでも結構です。

1位	
2位	
3位	

- ◎この中から選んで左の回答欄に記入**
- 1 まっすぐに帰宅する
 - 2 上司や同僚、部下とのつきあいの後、帰宅する
 - 3 取引先の人とのつきあいの後、帰宅する
 - 4 友人・知人とのつきあいの後、帰宅する
 - 5 スポーツジムや習い事、資格学校などに通ってから帰宅する
 - 6 夕飯の買い物などを済ましてから、帰宅する
 - 7 買い物やひとりでフラフラして自由な時間を過ごした後帰宅する
 - 8 その他(具体的に)

■引き続き全員の方におたずねします。現在独身の方も、結婚されたときのことを想定してお答えください。

Q18 あなたは職場で、育児の都合や家族の病気など家庭の都合によって自分の仕事をこなせないとき、どうすることが多いですか。もっともあてはまるものを2つまでお答えください。(○印は2つまで)

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1 職場で代わりの人に頼む | 5 仕事の性質上、自分で裁量できるので問題はない |
| 2 遅刻・早退・有給を利用する | 6 配偶者や他の家族がいるのでこうした問題はない |
| 3 残業を利用する | 7 その他(具体的に) |
| 4 家に仕事を持ち帰る | |

■Q19は女性の方だけにおたずねします。男性の方はQ20へおすすみください。

Q19 もし夫の収入が高かったり、その他に収入があった場合、あなたは現在の仕事を続けたいですか。(○印はひとつだけ)

- | | | | |
|--------------|-----------------|-----------|---------|
| 1 現在の仕事を続けたい | 2 もっと楽な仕事に代わりたい | 3 仕事はやめたい | 4 わからない |
|--------------|-----------------|-----------|---------|

Q20 子育て期に、あなたはどのような働き方をしたいと思いますか。(○印はひとつだけ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 育児に使える時間がなくなっても、仕事に専念する |
| 2 どちらかといえば、育児に使える時間より仕事を優先させて働く |
| 3 どちらかといえば、仕事より、育児に使える時間を優先させて働く |
| 4 働かずに、育児に専念する |

Q21 子育て期に、あなたの配偶者にはどのような働き方を期待しますか。(○印はひとつだけ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 育児に使える時間がなくなっても、仕事に専念する |
| 2 どちらかといえば、育児に使える時間より仕事を優先させて働く |
| 3 どちらかといえば、仕事より、育児に使える時間を優先させて働く |
| 4 働かずに、育児に専念する |

■ここからは「結婚と夫婦に対する考え方」についておたずねします。

Q22 夫婦間の責任や規範について、以下のような意見があります。あなたはそれぞれの意見に賛成ですか、反対ですか。(○印はひとつずつ)

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対
①家族の生活を経済的に支える責任は夫にある	1	2	3	4
②家事や育児の責任は妻にある	1	2	3	4
③夫の収入が多ければ、妻が無理して働く必要はない	1	2	3	4
④なんといっても女性の幸せは結婚にある	1	2	3	4
⑤妻が専業主婦であっても、夫は家事・育児に関わるべきである	1	2	3	4

■Q23は現在独身の方におたずねします。既婚の方はQ24へおすすみください。

Q23 あなたは結婚したいと思いますか。(○印はひとつだけ)

- 1 結婚したい相手がいる → 付問1を答えてQ24へ
- 2 結婚したいとは思いますが相手がない → 付問2を答えてQ24へ
- 3 結婚したいとは思わない → Q24へ

付問1 Q23で「1」とお答えの方におたずねします。あなたがまだ結婚しない理由は何ですか。もっともあてはまるものをひとつだけお答えください。(○印はひとつだけ)

- 1 相手が結婚を望んでいない
 - 2 経済条件が整わない
 - 3 親が反対している
 - 4 独身生活を楽しまたい
 - 5 仕事を優先したい
 - 6 今は未婚だがまもなく結婚する予定である
 - 7 親の面倒をみなくてはならない
 - 8 その他(具体的に)
- 回答後はQ24へおすすみください

付問2 Q23で「2」とお答えの方におたずねします。あなたのご自分の結婚について、今後どうなりたいですか。あなたの気持ちに近い方をお答えください。(○印はひとつだけ)

- 1 理想的な相手が現れなければ、結婚しなくても構わない
- 2 ある程度の年齢までには結婚したい

■ここからは「子供と育児に対する考え方」についておたずねします。

未既婚に関わらず、全員の方がお答えください。

Q24 あなたは将来、自分の子供の数は何人にしたいですか。

◎自分の子供は 人にしたい ※「子供はいらない」とお考えの方は「0」とご記入ください

■Q25 は現在お子さんのいらっしゃる方におたずねします。いない方はQ26へ

Q25 あなた自身と配偶者以外で、最初のお子さんが1歳になるまで主に世話をしたのは誰ですか。主に世話をした方をひとつだけお答えください。(○印はひとつだけ)

- 1 配偶者の親 3 近所の人 5 家政婦など有料で世話をしてくれる人 7 特にいない
2 その他の家族 4 保育所 6 その他(具体的に)

Q26 お子さんがいらっしゃらない方も含め、全員の方におたずねします。あなたの最初のお子さんは、何歳から幼稚園・保育所に通いましたか。まだ該当年齢のお子さんがいらっしゃらない場合は、予定している年齢をお答えください。(○印はひとつだけ)

- 1 満1歳以下の時から 2 1歳～3歳未満 3 3歳から 4 4歳から 5 5歳から

■Q27～Q30 は現在結婚されている方におたずねします。独身の方は次ページQ31へ

Q27 あなたのご家庭では、家事と育児の分担はどのようになっていますか。最も近いものをお答えください。

(○印はひとつだけ)

- 1 夫がほとんど家事・育児をしている 3 ほぼ半々で分担している 4 妻7、夫3の割合で分担している
2 夫7、妻3の割合で分担している 5 妻がほとんど家事・育児をしている

Q28 あなたが自分の子供を産んだり育てたりする上で、不安を感じるのはどのようなことですか。主なものを2つまでお答えください。ひとつしかないときはひとつでも結構です。

1 位

2 位

◎この中から選んで左の回答欄に記入

- 1 家事や育児の負担が増えること
2 自分の仕事に支障が出ること
3 養育や教育にお金がかかること
4 住居が狭いこと
5 両親や配偶者の家族などとの間で、出産・育児に対する考え方に違いがあること
6 その他(具体的に)

Q29 出産・育児について以下のような意見があります。あなたはそれぞれの意見に対してどのように思われますか。あなたの考え方に最も近いものをお答えください。(○印はひとつずつ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①やはり子供の身になって育児ができるのは母親である	1	2	3	4
②子供を産めば、女性も自然に母性愛に目覚めるものだ	1	2	3	4
③少なくとも子供が3歳になるまでは母親の手で育てるべきだ	1	2	3	4
④女性は子供を産んでこそ一人前である	1	2	3	4
⑤女性が出産を選択しない権利も認められるべきだ	1	2	3	4
⑥出産は女性の権利であり、女性だけに許された特権である	1	2	3	4
⑦女性の妊娠・出産は、女性の仕事や自由の確保の妨げになる	1	2	3	4
⑧男性も妻の出産に立ち会うべきだ	1	2	3	4

Q30 あなたはご自分のお子さんにどのような期待をしていらっしゃいますか。あなたの考え方に最も近いものをお答えください。(○印はひとつずつ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①子供には将来、豊かな生活をしてほしい	1	2	3	4
②子供は親のものというよりも、社会全体のものである	1	2	3	4
③子供の人生と親の人生は別である	1	2	3	4
④自分の代で得た財産は、子供には残さずに使い切りたい	1	2	3	4
⑤子供には教育を含めてできるだけ経済援助をしたい	1	2	3	4
⑥自分の老後は子供には面倒をかけないつもりだ	1	2	3	4
⑦老後は子供と同居しなくても、近くには住みたい	1	2	3	4
⑧自分の墓には、子供や孫がお参りしてほしい	1	2	3	4

※お子さんがいらっしゃらない方も、もしいた場合を想定してお答えください

■ここからは「子育ての支援」についておたずねします。全員の方がお答えください。

Q31 最近子供の数が少なくなってきています。政府は少子化対策をとることが必要だと思いますか。

(○印はひとつだけ)

- 1 必要である 2 ある程度必要である 3 あまり必要ではない 4 必要ではない

Q32 もし政府が子育て支援対策をとるとしたら、何を最も重視すべきだと思いますか。以下の中からひとつだけお答えください。(○印はひとつだけ)

- 1 育児への経済的援助(育児期間中の減税措置や児童手当の充実など)
 2 保育所、地域での子育て支援などサービスの充実
 3 育児休業制度の拡充や再就職支援など働き方の改善
 4 その他(具体的に)

Q33 育児と仕事の両立のために、勤務先の職場環境の整備として何が重要だと思いますか。重要と思う順に3つまでお答えください。ひとつしかないときはひとつでも結構です。

1 位

2 位

3 位

◎この中から選んで左の回答欄に記入

- 1 育児休業中の貸金保障の拡大
 2 育児休業後の職場復帰の保証
 3 育児休業期間の延長
 4 パートタイム労働の賃金や雇用保障の充実
 5 育児のための短時間勤務制度
 6 残業時間を含めた労働時間の短縮
 7 フレックスタイム制の適用
 8 在宅勤務の充実
 9 職場保育の充実
 10 子供が急病になったときの看護休暇
 11 子育て後の再雇用制度や再就職の支援制度
 12 職種によるコース別の雇用管理
 13 育児期間中の上司や同僚の理解
 14 その他(具体的に)

Q34 育児と仕事の両立のために、保育所等のサービスの充実として何が重要だと思いますか。重要と思う順に3つまでお答えください。ひとつしかないときはひとつでも結構です。

1 位

2 位

3 位

◎この中から選んで左の回答欄に記入

- 1 保育所の時間延長
- 2 保育料の低減化
- 3 休日保育の充実
- 4 夜間保育の充実
- 5 0歳児保育の拡充
- 6 駅前保育の充実
- 7 訪問保育の充実
- 8 学童保育の充実
- 9 保育に関する相談機関の充実
- 10 地域ボランティアの充実
- 11 その他(具体的に)

Q35 最後に、政府や市区などの地方自治体に対してご意見があればご記入ください。

--

ご協力ありがとうございました。

2月7日(月)までに、同封の返送用封筒にてご投函ください。

SUMMARY

page 1

F 1 性別

REPORT.NO:0001	1		2	3	9901					
	TOTAL	女性	男性	無回答						
	1,094 100.0	561 51.3	533 48.7	0 0.0						

page 3

F 2 年齢

REPORT.NO:0002	1		2	3	9901					
	TOTAL	30~34 歳	35~39 歳	無回答						
	1,094 100.0	538 49.2	556 50.8	0 0.0	34.6 37,801					

page 5

F 3 未既婚

REPORT.NO:0003	1		2	3	4	5	6	9901		
	TOTAL	結婚して いない	結婚して いる(初婚)	結婚して いる(再婚)	離別	死別	無回答			
	1,094 100.0	145 13.3	900 82.3	22 2.0	24 2.2	3 0.3	0 0.0			

page 7

F 3 結婚後年数 (初婚者)

REPORT.NO:0004	1		2	3	4	5	6	9901		
	TOTAL	1年目	2~3年目	4~5年目	6~10年 目	それ以上	無回答			
	900 100.0	20 2.2	77 8.6	121 13.4	375 41.7	266 29.6	41 4.6	8.4 7,250		

page 9

F 3 結婚後年数 (再婚者)

REPORT.NO:0005	1		2	3	4	5	6	9901		
	TOTAL	1年目	2~3年目	4~5年目	6~10年 目	それ以上	無回答			
	22 100.0	4 18.2	7 31.8	3 13.6	6 27.3	1 4.5	4.5 4.2 89			

SUMMARY

F 4 あなたは専業主婦ですか (回答者：既婚女性)

REPORT.NO:0006	1	2	3	page
TOTAL	はい	いいえ	無回答	11
	223 46.3	268 54.5	1 0.2	

F 5 子供の有無 (回答者：既婚者)

REPORT.NO:0007	1	2	3	page
TOTAL	子供がいる	子供はいない	無回答	13
	781 82.3	161 17.0	7 0.7	

F 5 子供の人数 (回答者：既婚者子供あり)

REPORT.NO:0008	1	2	3	4	5	9901	page
TOTAL	1人	2人	3人	4人以上	無回答	平均	15
	241 30.9	409 52.4	118 15.1	12 1.5	1 0.1	1.9 1,463	

F 5 子供の性別 : 第一子 (回答者：既婚者子供1名以上)

REPORT.NO:0009	1	2	3	page
TOTAL	男性	女性	無回答	17
	377 48.3	400 51.3	3 0.4	

F 5 子供の性別 : 第二子 (回答者：既婚者子供2名以上)

REPORT.NO:0010	1	2	3	page
TOTAL	男性	女性	無回答	19
	285 52.9	253 46.9	1 0.2	

SUMMARY

F 5 子供の性別 : 第三子 (回答者 : 既婚者子供 3 名以上)

REPORT.NO:0011	1		2		3		4		5		6		7		8		9		9901	
	男性	女性	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	平均
TOTAL	130	66	0																	
	100.0	50.8	49.2																	

page 21

F 5 子供の年齢 : 第一子 (回答者 : 既婚者子供 1 名以上)

REPORT.NO:0012	1		2		3		4		5		6		7		8		9		9901	
	~3歳	~5歳	~8歳	~12歳	~15歳	~18歳	~20歳	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	平均	
TOTAL	780	188	141	200	62	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	
	100.0	24.1	18.1	25.6	7.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.213	

page 23

F 5 子供の年齢 : 第二子 (回答者 : 既婚者子供 2 名以上)

REPORT.NO:0013	1		2		3		4		5		6		7		8		9		9901	
	~3歳	~5歳	~8歳	~12歳	~15歳	~18歳	~20歳	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	平均	
TOTAL	539	211	101	81	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.1	
	100.0	39.1	18.7	15.0	2.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.713	

page 25

F 5 子供の年齢 : 第三子 (回答者 : 既婚者子供 3 名以上)

REPORT.NO:0014	1		2		3		4		5		6		7		8		9		9901	
	~3歳	~5歳	~8歳	~12歳	~15歳	~18歳	~20歳	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	平均	
TOTAL	130	65	26	30	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.9	
	100.0	50.0	20.0	23.1	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	513	

page 27

F 6 世帯構成員数

REPORT.NO:0015	1		2		3		4		5		6		7		8		9		9901	
	1人(単身)	2人	3人	4人	5人以上	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	平均	
TOTAL	1,094	57	167	267	384	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.6	
	100.0	5.2	15.3	24.4	35.1	219	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,953	

page 29

SUMMARY

F 7 世帯構成員

TOTAL		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	page
		配偶者	子供	実父	実母	義父	義母	実祖父	実祖母	義祖父	義祖母	兄弟姉妹	その他	なし(単身世帯)	無回答	31
1,094	100.0	910	781	118	163	39	62	1	8	1	3	41	11	57	2	
		83.2	71.4	10.8	14.9	3.6	5.7	0.1	0.7	0.1	0.3	3.7	1.0	5.2	0.2	

F 8 自分の両親の居住地

TOTAL		1	2	3	4	5	6	7	8	page
		同居している	徒歩で往き来できる距離	乗り物を利用して30分未満の距離	乗り物を利用して30分~1時間の未済の距離	乗り物を利用して1時間~2時間の未済の距離	乗り物を利用して2時間以上の距離	両親ともすでに亡くなっている	無回答	33
1,094	100.0	171	134	146	149	170	291	94	9	
		15.6	12.2	13.3	13.6	15.5	26.6	2.2	0.8	

F 8 配偶者の両親の居住地

TOTAL		1	2	3	4	5	6	7	8	9	page
		同居している	徒歩で往き来できる距離	乗り物を利用して30分未満の距離	乗り物を利用して30分~1時間の未済の距離	乗り物を利用して1時間~2時間の未済の距離	乗り物を利用して2時間以上の距離	両親ともすでに亡くなっている	結婚していない	無回答	35
1,094	100.0	68	118	141	137	143	286	28	150	23	
		6.2	10.8	12.9	12.5	13.1	26.1	2.6	13.7	2.1	

F 9 住居形態

TOTAL		1	2	3	4	5	6	7	8	page
		持ち家一戸建て(自分の代で取得・建て替え)	持ち家一戸建て(親の持ち家)	持ち家マンション(自分の代で取得)	持ち家マンション(親の持ち家)	賃貸マンション・賃貸アパート	社宅・官舎・寮など	その他	無回答	37
1,094	100.0	274	158	188	19	365	81	6	3	
		25.0	14.4	17.2	1.7	33.4	7.4	0.5	0.3	

F 10 最終学歴

TOTAL		1	2	3	4	5	6	7	page
		中学校	高校	専門学校・専修学校	短大・高専	大学・大学院	その他	無回答	39
1,094	100.0	21	333	153	152	432	0	3	
		1.9	30.4	14.0	13.9	39.5	0.0	0.3	

SUMMARY

F 1 1 一般的な政策としての分野が重要だと思いますか (3 つまで)

REPORT.NO.:0021	1 土地・住宅政策		2 子供の教育政策		3 病気になったととの医療政策		4 出産・子育てに対する支援策		5 介護政策		6 年金政策		7 環境政策		8 防衛政策		9 景気対策		10 失業・雇用政策		11 その他の政策		12 無回答		page 41
	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
1,094 100.0	220 20.1	375 34.3	245 22.4	307 28.1	351 32.1	392 35.8	404 36.9	44 4.0	556 50.8	264 24.1	20 1.8	2 0.2													

Q 1 現在、収入を伴う仕事に就いていますか

REPORT.NO.:0022	1 就いている		2 就いていない		3 無回答		page 43
	TOTAL	1	2	3	4	5	
870 100.0	870 79.5	222 20.3	2	0.2			

Q 2 あなたの就業形態は

REPORT.NO.:0023	1 正社員・正社員・公務員		2 パート・アルバイト・契約社員		3 派遣社員		4 自営業主・家族従事者		5 在宅就労		6 その他		7 無回答		page 45
	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
870 100.0	651 74.8	139 16.0	13 1.5	50 5.7	12 1.4	4 0.5	1 0.1								

Q 3 平日の出勤時刻は (回答者：在宅就労除く)

REPORT.NO.:0024	1 午前6時より前		2 午前6時台		3 午前7時台		4 午前8時台		5 午前9時台		6 午前10時台		7 午前11時台		8 午前12時台		9 それより後		10 勤務時間不定		11 無回答		12 平均		page 47
	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
857 100.0	17 2.0	83 9.7	328 38.3	255 29.8	64 7.5	7 0.8	0 0.0	5 0.6	4 0.5	92 10.7	2 0.2	6.8 5,780													

Q 3 平日の帰宅時刻は (回答者：在宅就労除く)

REPORT.NO.:0025	1 午後5時より前		2 午後5時台		3 午後6時台		4 午後7時台		5 午後8時台		6 午後9時台		7 午後10時台		8 午後11時台		9 午後12時台		10 それより後		11 勤務時間不定		12 無回答		13 平均		page 49
	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23			
857 100.0	87 10.2	67 7.8	144 16.8	129 15.1	124 14.5	99 11.6	66 7.7	40 4.7	4 0.5	0 0.0	4 0.0	92 10.7	5 0.6	16.8 14,350													

SUMMARY

Q 4 片道の通勤時間は (回答者：自宅就労除く)

REPORT_NO:0026	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	9901	page
TOTAL	30分未満	60分未満	90分未満	120分未満	120分以上	無回答	11時間未満	12時間未満	12時間以上	労働時間不定	無回答	9901 平均	51
857 100.0	225 26.3	266 31.0	268 31.3	65 7.6	16 1.9	17 2.0	46.7 39,269						

Q 5 1 日の労働時間は (回答者：自宅就労除く)

REPORT_NO:0027	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	9901	page
TOTAL	5時間未満	6時間未満	7時間未満	8時間未満	9時間未満	10時間未満	11時間未満	12時間未満	12時間以上	労働時間不定	無回答	9901 平均	53
857 100.0	36 4.2	28 3.3	35 4.1	74 8.6	218 25.4	133 15.5	147 17.2	43 5.0	83 9.7	58 6.8	0.2	8.2 7,002	

Q 5 1 週間の労働日数は (回答者：自宅就労除く)

REPORT_NO:0028	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	9901	page
TOTAL	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	労働時間不定	無回答	平均		9901 平均	55
857 100.0	0 0.0	12 1.4	22 2.6	33 3.9	579 67.6	96 11.2	4 0.5	58 6.8	53 6.2	4.7 3,766			

Q 6 現在の職種は (回答者：自宅就労除く)

REPORT_NO:0029	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	9901	page
TOTAL	現業職・技能職	事務職	営業・販売・サービス職	技術・研究・専門職	管理職・会社経営職	その他	無回答						57
857 100.0	146 17.0	255 29.8	201 23.5	183 21.4	51 6.0	17 2.0	4 0.5						

Q 7 現在の勤務先での勤続年数は (回答者：自宅就労除く)

REPORT_NO:0030	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	9901	page
TOTAL	1年目	2~3年目	4~5年目	6~10年目	11~15年目	16~20年目	21年目以上	無回答	平均			9901 平均	59
857 100.0	115 13.4	103 12.6	82 9.6	244 28.5	211 24.6	86 10.0	10 1.2	0.1 0.1	8.3 7,075				

SUMMARY

Q 1 2 配偶者の平日の帰宅時刻は (回答者: 配偶者自宅就労除く)

REPORT.NO:0036	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	9901	page
TOTAL	午後5時より前	午後5時台	午後6時台	午後7時台	午後8時台	午後9時台	午後10時台	午後11時台	午後12時台	それより後	勤務時間不定	無回答	平均	
619 100.0	69 11.1	31 5.0	66 10.7	85 13.7	89 14.4	83 13.4	56 9.0	42 6.8	1 0.2	0 0.0	91 14.7	6 1.0	15.8 9,693	71

Q 1 3 配偶者の1日の労働時間 (回答者: 配偶者自宅就労除く)

REPORT.NO:0037	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	9901	page
TOTAL	5時間未満	6時間未満	7時間未満	8時間未満	9時間未満	10時間未満	11時間未満	12時間未満	12時間以上	労働時間不定	無回答	平均		
619 100.0	25 4.0	22 3.6	19 3.1	25 4.0	125 20.2	91 14.7	114 18.4	45 7.3	78 12.6	67 10.8	8 1.3	8.1 4,939	73	

Q 1 3 配偶者の1週間の労働日数は (回答者: 配偶者自宅就労除く)

REPORT.NO:0038	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	9901	page
TOTAL	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	労働時間不定	無回答	平均				
619 100.0	1 0.2	13 2.1	7 1.1	20 3.2	357 57.7	115 18.6	2 0.3	67 10.8	37 6.0	4.6 2,683				75

Q 1 4 配偶者の現在の職種は (回答者: 配偶者自宅就労除く)

REPORT.NO:0039	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	9901	page
TOTAL	現業職・技能職	事務職	営業・販売・サービス職	技術・研究・専門職	管理職・会社経営職	その他	無回答							
619 100.0	128 20.7	134 21.6	181 29.2	105 17.0	49 7.9	18 2.9	4 0.6							77

Q 1 5 配偶者の年間収入は (税込み) (回答者: 配偶者自宅就労除く)

REPORT.NO:0040	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	9901	page
TOTAL	50万円未満	50~100万円未満	100~200万円未満	200~400万円未満	400~600万円未満	600~800万円未満	800~1000万円未満	1000万円以上	無回答					
619 100.0	22 3.6	41 6.6	28 4.5	63 10.2	189 30.5	147 23.7	57 9.2	19 3.1	53 8.6					79

SUMMARY

Q 1 6 終業時刻から1時間未満で退社する日はどのくらいありますか (回答者：専業主婦を除く就労者)

page 81

REPORT.NO.:0041	1	2	3	4	5	6	7		
TOTAL	ほとんどない	週に1日程	週に2日程	週に3日程	週に4日程	ほぼ毎日	無回答		
871 100.0	264 30.3	80 9.2	95 10.9	77 8.8	32 3.7	300 34.4	23 2.6		

Q 1 6 付問すぐぐに退社しない/できない理由は (回答者：専業主婦除く) (1位)

page 83

REPORT.NO.:0042	1	2	3	4	5	6	7		
TOTAL	自分が行うべき仕事の量が多いから	終業時間後に会議やミーティングなどが開かれるから	定時では退社しづらい雰囲気があるから	仕事や職場生活にやりがいや充実感を感じないから	残業によって収入を確保したいから	その他	なし・無回答		
548 100.0	436 79.6	23 4.2	26 4.7	15 2.7	14 2.6	15 2.7	19 3.5		

Q 1 6 付問すぐぐに退社しない/できない理由は (回答者：専業主婦除く) (2位)

page 85

REPORT.NO.:0043	1	2	3	4	5	6	7		
TOTAL	自分が行うべき仕事の量が多いから	終業時間後に会議やミーティングなどが開かれるから	定時では退社しづらい雰囲気があるから	仕事や職場生活にやりがいや充実感を感じないから	残業によって収入を確保したいから	その他	なし・無回答		
548 100.0	39 7.1	128 23.4	80 14.6	59 10.8	35 6.4	25 4.6	182 33.2		

Q 1 7 家に帰るまでの時間をどのように過ごしていますか (回答者：専業主婦除く) (1位)

page 87

REPORT.NO.:0044	1	2	3	4	5	6	7	8	9
TOTAL	まっすぐに帰宅する	上司や同僚のつきあひの後、帰宅する	取引先の人とのつきあひの後、帰宅する	友人・知人とのつきあひの後、帰宅する	スポーツジムや買い物などに通つてから帰宅する	夕飯の買い物などをしてから帰宅する	買い物やひらでつらつら帰宅する	その他	なし・無回答
871 100.0	592 68.0	33 3.8	3 0.3	14 1.6	17 2.0	112 12.9	35 4.0	40 4.6	25 2.9

Q 1 7 家に帰るまでの時間をどのように過ごしていますか (回答者：専業主婦除く) (2位)

page 89

REPORT.NO.:0045	1	2	3	4	5	6	7	8	9
TOTAL	まっすぐに帰宅する	上司や同僚のつきあひの後、帰宅する	取引先の人とのつきあひの後、帰宅する	友人・知人とのつきあひの後、帰宅する	スポーツジムや買い物などに通つてから帰宅する	夕飯の買い物などをしてから帰宅する	買い物やひらでつらつら帰宅する	その他	なし・無回答
871 100.0	111 12.7	164 18.8	26 3.0	80 9.2	28 3.2	159 18.3	118 13.5	15 1.7	170 19.5

SUMMARY

Q 1 7 家に帰るまでの時間をどのように過ごしていますか (回答者: 専業主婦除く) (3位)

page 91

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
TOTAL	871 100.0	73 8.4	43 4.9	103 11.8	20 2.3	38 4.4	140 16.1	17 2.0	376 43.2
	まっすぐに帰宅する	上司や同僚、部下とのつきあいの後、帰宅する	取引先の人のつきあいの後、帰宅する	友人・知人とのつきあいの後、帰宅する	スポーツや趣味の時間などから帰宅する	夕飯の買い物などをしてから帰宅する	買い物やひとりでフラフラ帰宅する	その他	なし・無回答

Q 1 8 育児や家族の病気などで仕事をこなせないときどうすることが多いですか (2つまで) (専業主婦除く)

page 93

	1	2	3	4	5	6	7	8
TOTAL	871 100.0	506 58.1	142 16.3	133 15.3	144 16.5	105 12.1	21 2.4	7 0.8
	職場で代わりの人に頼む	遅刻・早退や有給を利用する	残業を利用する	家に仕事を持ち帰る	仕事の性質を自分で変えられるので問題はない	配偶者や他の家族がいらない問題は少ない	その他	無回答

Q 1 9 夫の収入が高かったりその他に収入があった場合、現在の仕事を続けたいですか (専業主婦除く女性)

page 95

	1	2	3	4	5
TOTAL	338 100.0	161 47.6	54 16.0	73 21.6	4 1.2
	現在の仕事を続けたい	もっと楽な仕事に代わりたい	仕事はやめたい	わからない	無回答

Q 2 0 子育て期にあなたはどのような働き方をしたいですか

page 97

	1	2	3	4	5
TOTAL	1,094 100.0	29 2.7	374 34.2	419 38.3	183 16.7
	育児に使える時間がなるべく少なめに専念する	どちらかといえは仕事を優先させて働く	どちらかといえは育児を優先させて働く	働かずに育児に専念する	無回答

Q 2 1 子育て期に配偶者にどのような働き方を期待しますか

page 99

	1	2	3	4	5
TOTAL	1,094 100.0	39 3.6	322 29.4	362 33.1	286 26.1
	育児に使える時間がなるべく少なめに専念する	どちらかといえは仕事を優先させて働く	どちらかといえは育児を優先させて働く	働かずに育児に専念する	無回答

SUMMARY

Q 2 2 あなたは以下の意見に賛成ですか、反対ですか

REPORT.NO:0051	Q 2 2 あなたは以下の意見に賛成ですか、反対ですか				
	1	2	3	4	5
TOTAL	賛成	どちらかと いえは賛成	どちらかと いえは反対	反対	無回答
5,470 100.0	1,439 26.3	2,235 40.9	1,163 21.3	591 10.8	42 0.8

Q 2 2 あなたは以下の意見に賛成ですか、反対ですか ① 家族の生活を経済的に支える責任は夫にある

REPORT.NO:0052	Q 2 2 あなたは以下の意見に賛成ですか、反対ですか ① 家族の生活を経済的に支える責任は夫にある				
	1	2	3	4	5
TOTAL	賛成	どちらかと いえは賛成	どちらかと いえは反対	反対	無回答
1,094 100.0	445 40.7	495 45.2	107 9.8	41 3.7	6 0.5

Q 2 2 あなたは以下の意見に賛成ですか、反対ですか ② 家事や育児の責任は妻にある

REPORT.NO:0053	Q 2 2 あなたは以下の意見に賛成ですか、反対ですか ② 家事や育児の責任は妻にある				
	1	2	3	4	5
TOTAL	賛成	どちらかと いえは賛成	どちらかと いえは反対	反対	無回答
1,094 100.0	79 7.2	514 47.0	331 30.3	163 14.9	7 0.6

Q 2 2 あなたは以下の意見に賛成ですか、反対ですか ③ 夫の収入が多ければ、妻が無理して働く必要はない

REPORT.NO:0054	Q 2 2 あなたは以下の意見に賛成ですか、反対ですか ③ 夫の収入が多ければ、妻が無理して働く必要はない				
	1	2	3	4	5
TOTAL	賛成	どちらかと いえは賛成	どちらかと いえは反対	反対	無回答
1,094 100.0	333 30.4	380 34.7	276 25.2	98 9.0	7 0.6

Q 2 2 あなたは以下の意見に賛成ですか、反対ですか ④ なんといっても女性の幸せは結婚にある

REPORT.NO:0055	Q 2 2 あなたは以下の意見に賛成ですか、反対ですか ④ なんといっても女性の幸せは結婚にある				
	1	2	3	4	5
TOTAL	賛成	どちらかと いえは賛成	どちらかと いえは反対	反対	無回答
1,094 100.0	58 5.3	358 32.7	393 35.9	273 25.0	12 1.1

SUMMARY

Q 2 2 あなたは以下の意見に賛成ですか、反対ですか ⑤妻が専業主婦であっても夫は家事・育児に関わるべき

REPORT.NO:0056	1	2	3	4	5	page
	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答	114
TOTAL						
	524 47.9	488 44.6	56 5.1	16 1.5	10 0.9	

Q 2 3 あなたは結婚したいと思いますか (回答者：未婚者)

REPORT.NO:0057	1	2	3	4	page
	結婚したい相手がいる	結婚したい相手がない	結婚したいとは思わない	無回答	116
TOTAL					
	45 31.0	72 49.7	21 14.5	7 4.8	

Q 2 3 付問 1 まだ結婚しない理由は (単数回答) (回答者：「結婚したい相手がいる」)

REPORT.NO:0058	1	2	3	4	5	6	7	8	9	page
	相手が結婚を望んでいない	経済条件が整わない	妻が反対している	独身生活を楽しまない	仕事を優先したい	今は未婚だが結婚する予定である	妻の面倒をみたくならない	その他	無回答	118
TOTAL										
	45 100.0	6 13.3	3 6.7	1 2.2	3 6.7	2 4.4	17 37.8	3 6.7	4 8.9	6 13.3

Q 2 3 付問 2 ご自分の結婚について今後どうしたいですか (回答者：「結婚したいとは思いが相手がない」)

REPORT.NO:0059	1	2	3	page
	理想的な結婚相手が現れなければ結婚してもよい	ある程度の年齢までには結婚したい	無回答	120
TOTAL				
	72 100.0	33 45.8	8 11.1	

Q 2 4 将来、子供の人数は何人にしたいですか

REPORT.NO:0060	1	2	3	4	5	6	9901	page
	0人(子供はいらない)	1人	2人	3人	4人以上	無回答	平均	122
TOTAL								
	1,094 100.0	59 5.4	104 9.5	617 56.4	273 25.0	26 2.4	15 1.4	2,289

Q 2 5 あなたご自身と配偶者以外で、最初の子供が1歳になるまで主に世話をしたのは(回答者: 子供あり)
SUMMARY

REPORT.NO.:0061	1	2	3	4	5	6	7	8	page 124
	TOTAL	配偶者の親族	近所の人	保育所	家族など有料で世話をしてくれる人	その他	特になし	無回答	
	781	229	8	54	2	52		5	
	100.0	29.3	1.0	6.9	0.3	6.7		0.6	
		76							
		9.7							

Q 2 6 最初の子供は何歳から幼稚園・保育所に通いましたか/通わせる予定ですか(回答者: 全員)

REPORT.NO.:0062	1	2	3	4	5	6	page 126
	TOTAL	満1歳以下 の時から	1歳~3歳 未満	3歳から	4歳から	5歳から	
	1,094	93	152	355	395	75	
	100.0	8.5	13.9	32.4	36.1	6.9	
						24	
						2.2	

Q 2 7 あなたのご家庭では、家事と育児の分担はどのようになっていますか(回答者: 既婚者)

REPORT.NO.:0063	1	2	3	4	5	6	page 128
	TOTAL	夫がほとんど 家事・育児 をしている	夫3 分、妻3 分、子ども が半分を 担っている	妻7、夫3 の割合で分 担している	妻がほとん ど家事・育 児をしている	無回答	
	949	1	49	303	558	31	
	100.0	0.1	5.2	31.9	58.8	3.3	

Q 2 8 子供を産んだり育てたりする上で不安を感じるのは (1位) (回答者: 既婚者)

REPORT.NO.:0064	1	2	3	4	5	6	7	page 130
	TOTAL	家事や育児 の負担が増 えること	自分の仕事 に支障が出 ること	養育や教育 にお金がか かること	住居が狭い こと	両親などと の間に出生 ・育児の責 え方に違い がある	その他	
	949	216	45	473	88	24	64	
	100.0	22.8	4.7	49.8	9.3	2.5	6.7	
							39	
							4.1	

Q 2 8 子供を産んだり育てたりする上で不安を感じるのは (2位) (回答者: 既婚者)

REPORT.NO.:0065	1	2	3	4	5	6	7	page 132
	TOTAL	家事や育児 の負担が増 えること	自分の仕事 に支障が出 ること	養育や教育 にお金がか かること	住居が狭い こと	両親などと の間に出生 ・育児の責 え方に違い がある	その他	
	949	168	69	209	202	60	32	
	100.0	17.7	7.3	22.0	21.3	6.3	3.4	
							209	
							22.0	

SUMMARY

Q 2 9 あなたは以下の意見に対してどう思われますか (回答者: 既婚者)

page 134

TOTAL	1		2		3		4		5	
	そう思う	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	どちらかといえはそう思う	そう思わない	そう思わない	無回答	
7,582 100.0	1,837 24.2	2,787 36.7	1,617 21.3	1,115 14.7	236 3.1					

Q 2 9 あなたは以下の意見に対してどう思われますか (回答者: 既婚者) ① やはり子供の身になって育児ができるのは母親である

page 137

TOTAL	1		2		3		4		5	
	そう思う	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	どちらかといえはそう思う	そう思わない	そう思わない	無回答		
949 100.0	217 22.9	474 49.9	144 15.2	86 9.1	28 3.0					

Q 2 9 あなたは以下の意見に対してどう思われますか (回答者: 既婚者) ② 子供を産めば女性も自然に母性愛に目覚めるものだ

page 139

TOTAL	1		2		3		4		5	
	そう思う	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	どちらかといえはそう思う	そう思わない	そう思わない	無回答		
949 100.0	266 28.0	436 45.9	140 14.8	80 8.4	27 2.8					

Q 2 9 あなたは以下の意見に対してどう思われますか (回答者: 既婚者) ③ 少なくとも子供が3歳になるまでは母親が育てるべき

page 141

TOTAL	1		2		3		4		5	
	そう思う	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	どちらかといえはそう思う	そう思わない	そう思わない	無回答		
949 100.0	362 38.1	332 35.0	142 15.0	86 9.1	27 2.8					

Q 2 9 あなたは以下の意見に対してどう思われますか (回答者: 既婚者) ④ 女性は子供を産んでこそ一人前である

page 143

TOTAL	1		2		3		4		5	
	そう思う	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	どちらかといえはそう思う	そう思わない	そう思わない	無回答		
949 100.0	73 7.7	174 18.3	279 29.4	394 41.5	29 3.1					

SUMMARY

Q 2 9 あなたは以下の意見に対してどう思われますか (回答者：既婚者) ⑤女性が出産を選択しない権利も認められるべきだ page 145

TOTAL	1					2					3					4					5				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	350	349	162	55	33	36.9	36.8	17.1	5.8	3.5															
949 100.0																									

Q 2 9 あなたは以下の意見に対してどう思われますか (回答者：既婚者) ⑥出産は女性の権利であり女性のみに許された特権 page 147

TOTAL	1					2					3					4					5				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	281	354	208	94	32	29.6	35.2	21.9	9.9	3.4															
949 100.0																									

Q 2 9 あなたは以下の意見に対してどう思われますか (回答者：既婚者) ⑦妊娠・出産は女性の仕事や自由確保の妨げになる page 149

TOTAL	1					2					3					4					5				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	133	390	268	127	31	14.0	41.1	28.2	13.4	3.3															
949 100.0																									

Q 2 9 あなたは以下の意見に対してどう思われますか (回答者：既婚者) ⑧男性も妻の出産に立ち会うべきだ page 151

TOTAL	1					2					3					4					5				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	155	298	274	193	29	16.3	31.4	28.9	20.3	3.1															
949 100.0																									

Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者) page 153

TOTAL	1					2					3					4					5				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2,623	3,032	1,251	471	215	34.5	39.9	16.5	6.2	2.8															
7,592 100.0																									

SUMMARY

Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者) ①子供には将来豊かな生活をしてほしい

page 156

REPORT_NO:0076	Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者)				
	1	2	3	4	5
TOTAL	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	無回答
949 100.0	511 53.8	389 41.0	16 1.7	7 0.7	26 2.7

Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者) ②子供は親のものというよりも社会全体のものである

page 158

REPORT_NO:0077	Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者)				
	1	2	3	4	5
TOTAL	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	無回答
949 100.0	148 15.6	379 39.9	290 30.6	100 10.5	32 3.4

Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者) ③子供の人生と親の人生は別である

page 160

REPORT_NO:0078	Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者)				
	1	2	3	4	5
TOTAL	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	無回答
949 100.0	620 65.3	271 28.6	30 3.2	2 0.2	26 2.7

Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者) ④自分の代で得た財産は子供には残さずに使いたい

page 162

REPORT_NO:0079	Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者)				
	1	2	3	4	5
TOTAL	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	無回答
949 100.0	78 8.2	157 16.5	495 52.2	183 20.3	26 2.7

Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者) ⑤子供には教育を含めてできるだけ経済援助をしたい

page 164

REPORT_NO:0080	Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者)				
	1	2	3	4	5
TOTAL	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	無回答
949 100.0	280 29.5	520 54.8	110 11.6	13 1.4	26 2.7

SUMMARY

Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者) ⑥ 自分の老後は子供には面倒をかけないつもりだ

REPORT.NO.:0081	page 166				
	1	2	3	4	5
TOTAL	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	無回答
949 100.0	322 33.9	521 54.9	67 7.1	12 1.3	27 2.8

Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者) ⑦ 老後は子供と同居しなくても近くには住みたい

REPORT.NO.:0082	page 168				
	1	2	3	4	5
TOTAL	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	無回答
949 100.0	306 32.2	448 47.2	125 13.2	44 4.6	26 2.7

Q 3 0 あなたは自分の子供にどのような期待をしていますか (回答者：既婚者) ⑧ 自分の墓には子供や孫がお参りしてほしい

REPORT.NO.:0083	page 170				
	1	2	3	4	5
TOTAL	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	無回答
949 100.0	358 37.7	347 36.6	118 12.4	100 10.5	26 2.7

Q 3 1 政府は少子化対策をとることが必要だと思いますか

REPORT.NO.:0084	page 172				
	1	2	3	4	5
TOTAL	必要である	ある程度必要である	あまり必要ではない	必要ではない	無回答
1,094 100.0	442 40.4	498 45.5	105 9.6	46 4.2	3 0.3

Q 3 2 政府が子育て支援政策をとるとしたら、何を最も重視すべきだと思いますか (単数回答)

REPORT.NO.:0085	page 174				
	1	2	3	4	5
TOTAL	育児への経済的援助	保育所、地域の子育て支援など充実	育児休業制度の拡充や再就職支援など働き方の改善	その他	無回答
1,094 100.0	516 47.2	313 28.6	222 20.3	37 3.4	6 0.5

Q 3 3 育児と仕事の両立のために、勤務先の職場環境の整備として何が重要だと思いますか (1位)

REPORT.NO.:0086	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	page
TOTAL	育児休業中の賃金保障の拡大	育児休業後の職場復帰の保証	育児休業期間の延長	パートタイム労働の賃金や雇用保険の充実	育児のための短時間勤務制度	残業時間を短縮するための労働時間短縮	フレックスタイム制の適用	在宅勤務の充実	職場保育の充実	子供が急病になったときの看護休暇	子育て後の再雇用制度や再就職支援制度	職種によるコース別の雇用管理	育児期間中の上司や同僚の理解	その他	なし・無回答	176
1,094 100.0	97 8.9	203 18.6	59 5.4	37 3.4	106 9.7	25 2.3	52 4.8	56 5.1	91 8.3	113 10.3	62 5.7	7 0.6	173 15.8	3 0.3	10 0.9	

Q 3 3 育児と仕事の両立のために、勤務先の職場環境の整備として何が重要だと思いますか (2位)

REPORT.NO.:0087	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	page
TOTAL	育児休業中の賃金保障の拡大	育児休業後の職場復帰の保証	育児休業期間の延長	パートタイム労働の賃金や雇用保険の充実	育児のための短時間勤務制度	残業時間を短縮するための労働時間短縮	フレックスタイム制の適用	在宅勤務の充実	職場保育の充実	子供が急病になったときの看護休暇	子育て後の再雇用制度や再就職支援制度	職種によるコース別の雇用管理	育児期間中の上司や同僚の理解	その他	なし・無回答	178
1,094 100.0	33 3.0	132 12.1	46 4.2	48 4.4	147 13.4	40 3.7	93 8.5	81 7.4	90 8.2	167 15.3	65 5.9	5 0.5	99 9.0	0 0.0	48 4.4	

Q 3 3 育児と仕事の両立のために、勤務先の職場環境の整備として何が重要だと思いますか (3位)

REPORT.NO.:0088	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	page
TOTAL	育児休業中の賃金保障の拡大	育児休業後の職場復帰の保証	育児休業期間の延長	パートタイム労働の賃金や雇用保険の充実	育児のための短時間勤務制度	残業時間を短縮するための労働時間短縮	フレックスタイム制の適用	在宅勤務の充実	職場保育の充実	子供が急病になったときの看護休暇	子育て後の再雇用制度や再就職支援制度	職種によるコース別の雇用管理	育児期間中の上司や同僚の理解	その他	なし・無回答	180
1,094 100.0	33 3.0	83 7.6	40 3.7	42 3.8	118 10.8	39 3.6	60 5.5	83 7.6	84 7.7	131 12.0	93 8.5	9 0.8	168 15.4	7 0.6	104 9.5	

Q 3 4 育児と仕事の両立のために、保育所等のサービスの充実として何が重要だと思いますか (1位)

REPORT.NO.:0089	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	page
TOTAL	保育所の時間延長	保育料の低減	休日保育の充実	夜間保育の充実	0歳児保育の拡充	駅前保育の充実	訪問保育の充実	学童保育の充実	保育に関する相談機能の充実	地域ボランティアの充実	その他	なし・無回答				182
1,094 100.0	402 36.7	413 37.8	23 2.1	19 1.7	52 4.8	43 3.9	11 1.0	43 3.9	21 1.9	20 1.8	36 3.3	11 1.0				

Q 3 4 育児と仕事の両立のために、保育所等のサービスの充実として何が重要だと思いますか (2位)

REPORT.NO.:0090	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	page
TOTAL	保育所の時間延長	保育料の低減	休日保育の充実	夜間保育の充実	0歳児保育の拡充	駅前保育の充実	訪問保育の充実	学童保育の充実	保育に関する相談機能の充実	地域ボランティアの充実	その他	なし・無回答				184
1,094 100.0	263 24.0	247 22.6	74 6.8	67 6.1	72 6.6	83 7.6	27 2.5	103 9.4	55 5.0	22 2.0	9 0.8	72 6.6				

SUMMARY

Q 3 4 育児と仕事の両立のために、保育所等のサービスの充実として何が重要だと思いますか (3位)

REPORT NO.0091	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
TOTAL	1 保育所の時 間延長	2 保育料の低 減化	3 休日保育の 充実	4 夜間保育の 充実	5 0歳児保育 の拡充	6 駅前保育の 充実	7 訪問保育の 充実	8 学童保育の 充実	9 保育に關す る相談機関 の充実	10 地域ボラン ティアの充 実	11 その他	12 なし・無回 答
1,094	102	108	86	94	69	115	32	160	65	54	16	193
100.0	9.3	9.9	7.9	8.6	6.3	10.5	2.9	14.6	5.9	4.9	1.5	17.6

